

都道府県学力調査 の報告

基礎学力研究開発センター

濱中 淳子

杉澤 武俊

調査の概要

■ 調査対象

全都道府県・政令指定都市教育委員会(60委員会)

■ 調査内容

- ・ 平成7年度以降に教育委員会が主体となっていた学力調査の実態
- ・ 学力調査に対する意見

■ 実施期間

2003年7～8月

■ 回答状況

58の教育委員会から回答

報告の前に～調査数のカウント方法～

- 以下の報告では、調査名が同じ(時期も同じ)でも、複数学年にわたって調査が実施された場合、その学年の数だけ調査が実施されたとして、調査数をカウントしている。

- 例：A県

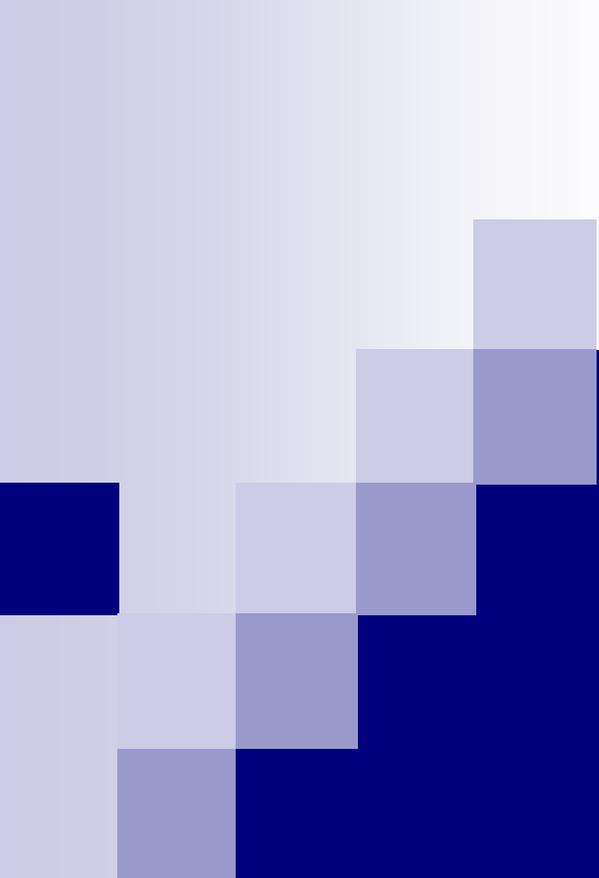
平成12年7月実施 「A県学力調査」

対象(科目)：小5(国・算) / 小6(国・算) / 中2(国・数・英)

平成15年7月実施 「A県学力調査」

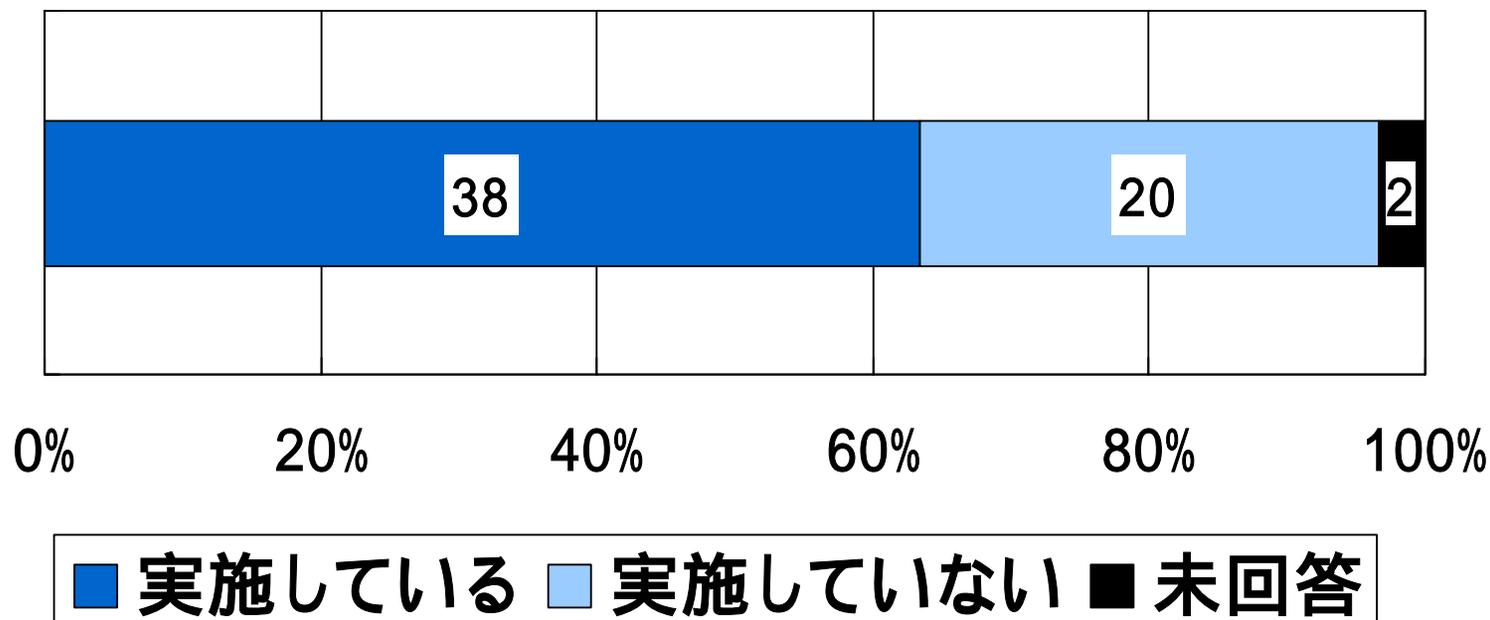
対象(科目)：小5(国・算・理・社) / 中2(国・数・英・理・社)

3調査 + 2調査 = 合計5調査



学力調査の実施状況

学力調査を実施している教育委員会はどの程度か



6割強の教育委員会が実施

平成7年度以降の学力調査数は、のべ281

(注意事項)

ただし、実施していない120委員会のうち

- 2委員会：市町村あるいは学校が学力調査を行う場合に「補助」をするという形で関与
- いくつかの政令指定都市：都道府県教育委員会と共同という形で実施

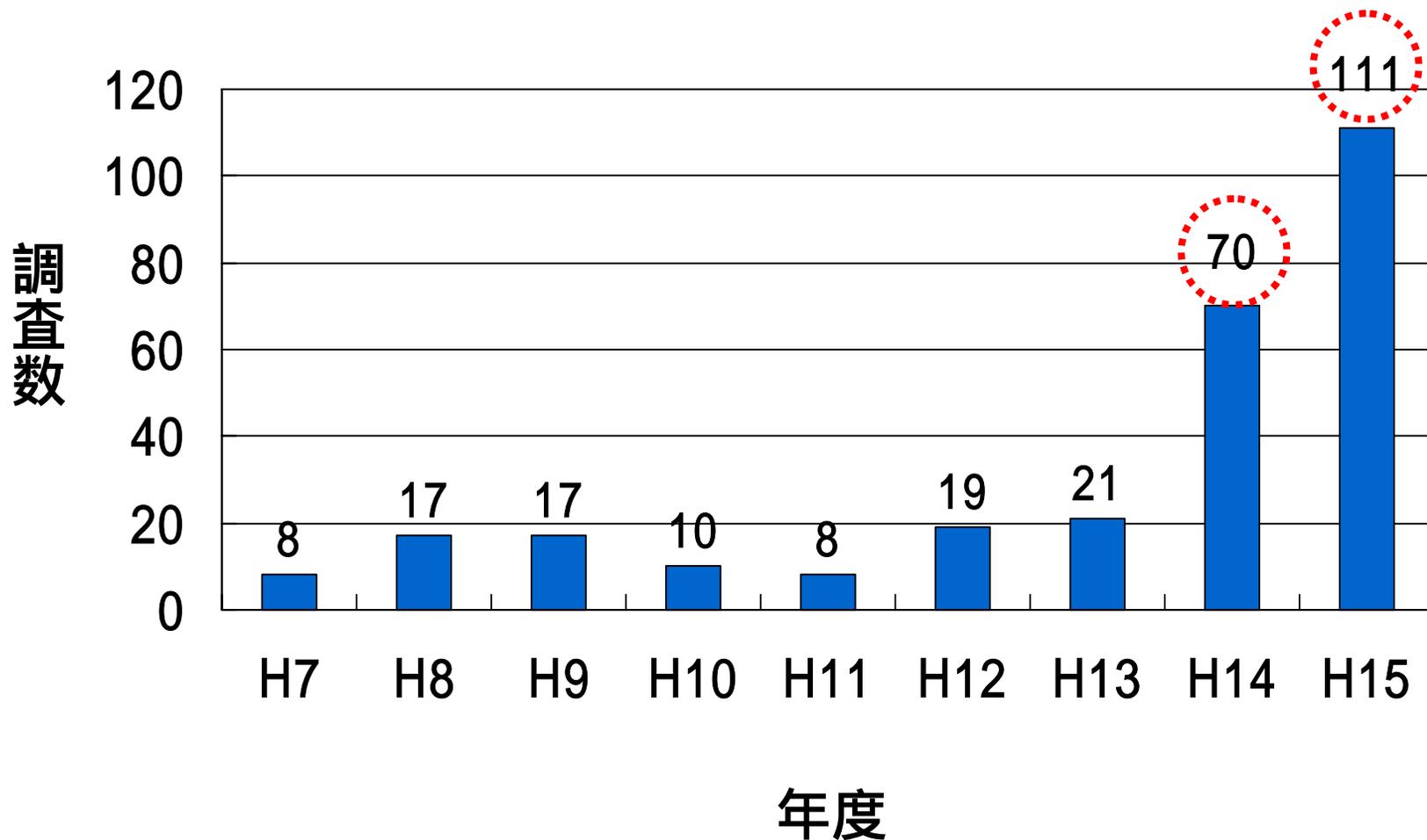
これらの委員会を足し合わせると、

8割近くの教育委員会が実施ということになる。

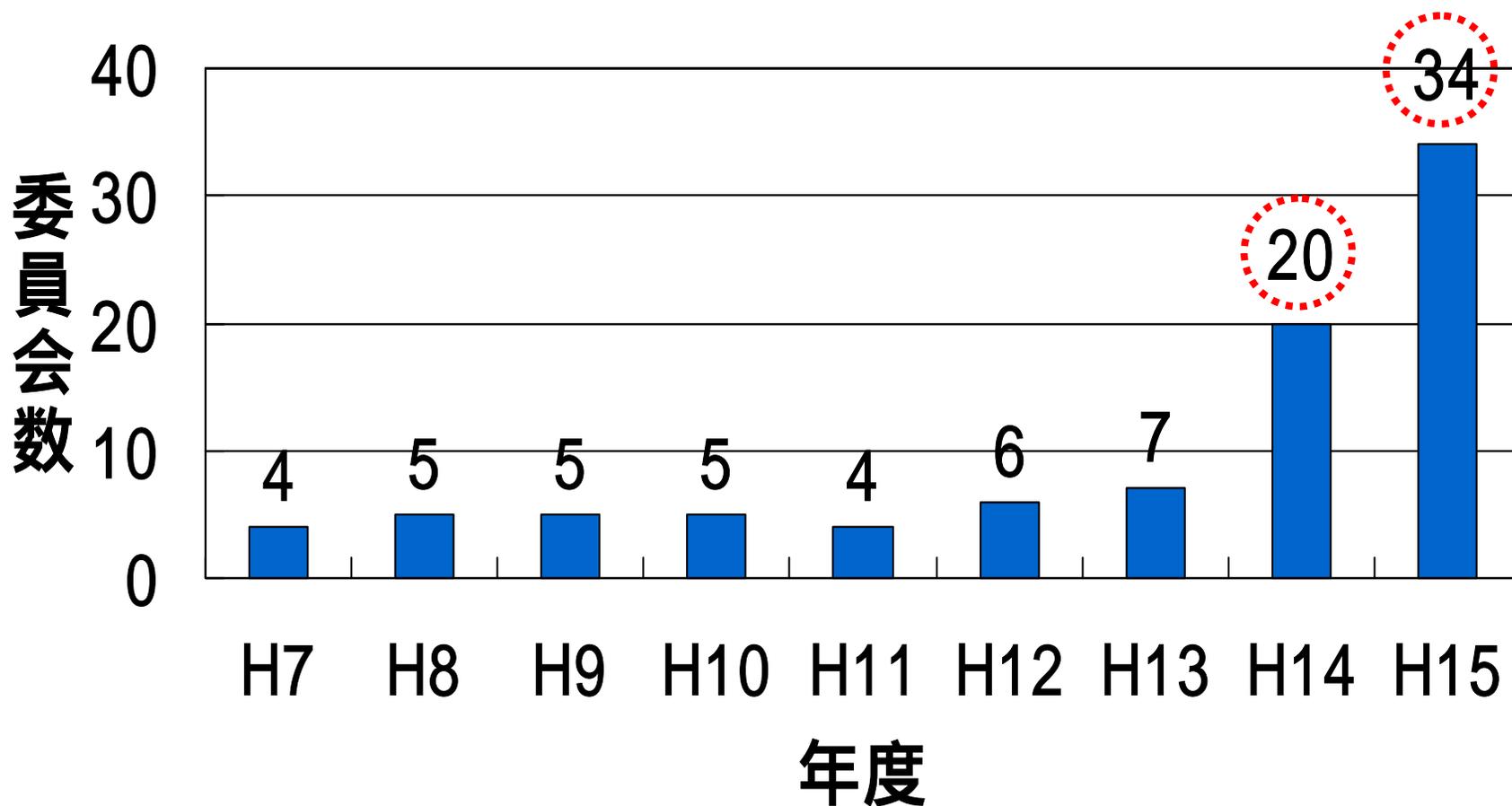
調査回数別にみた委員会の分布

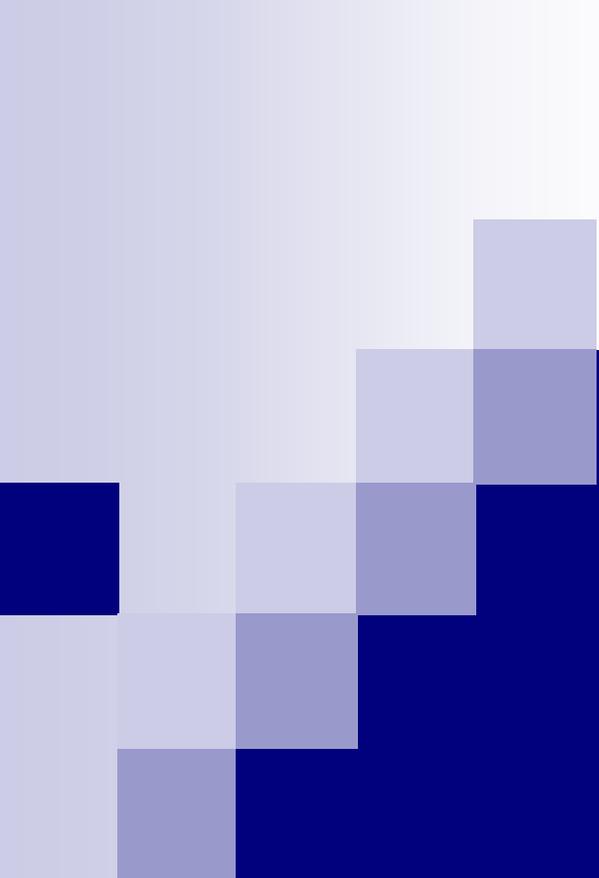
2回	12委員会	12回	2委員会
3回	2委員会	15回	1委員会
4回	7委員会	16回	1委員会
5回	2委員会	19回	1委員会
6回	3委員会	20回	1委員会
7回	3委員会	33回	1委員会
11回	1委員会	36回	1委員会

年度別の学力調査実施状況(1)



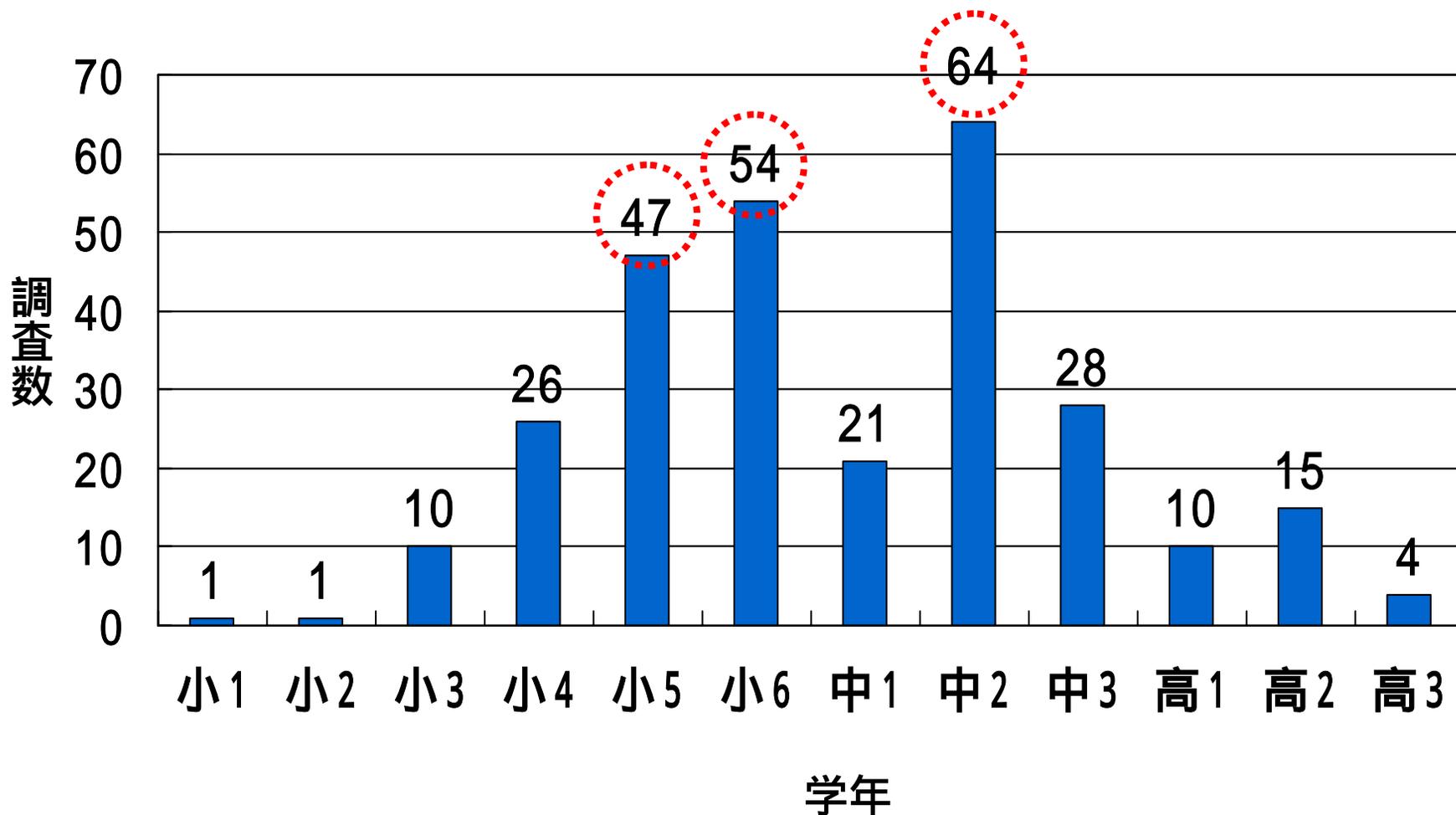
年度別の学力調査実施状況(2)



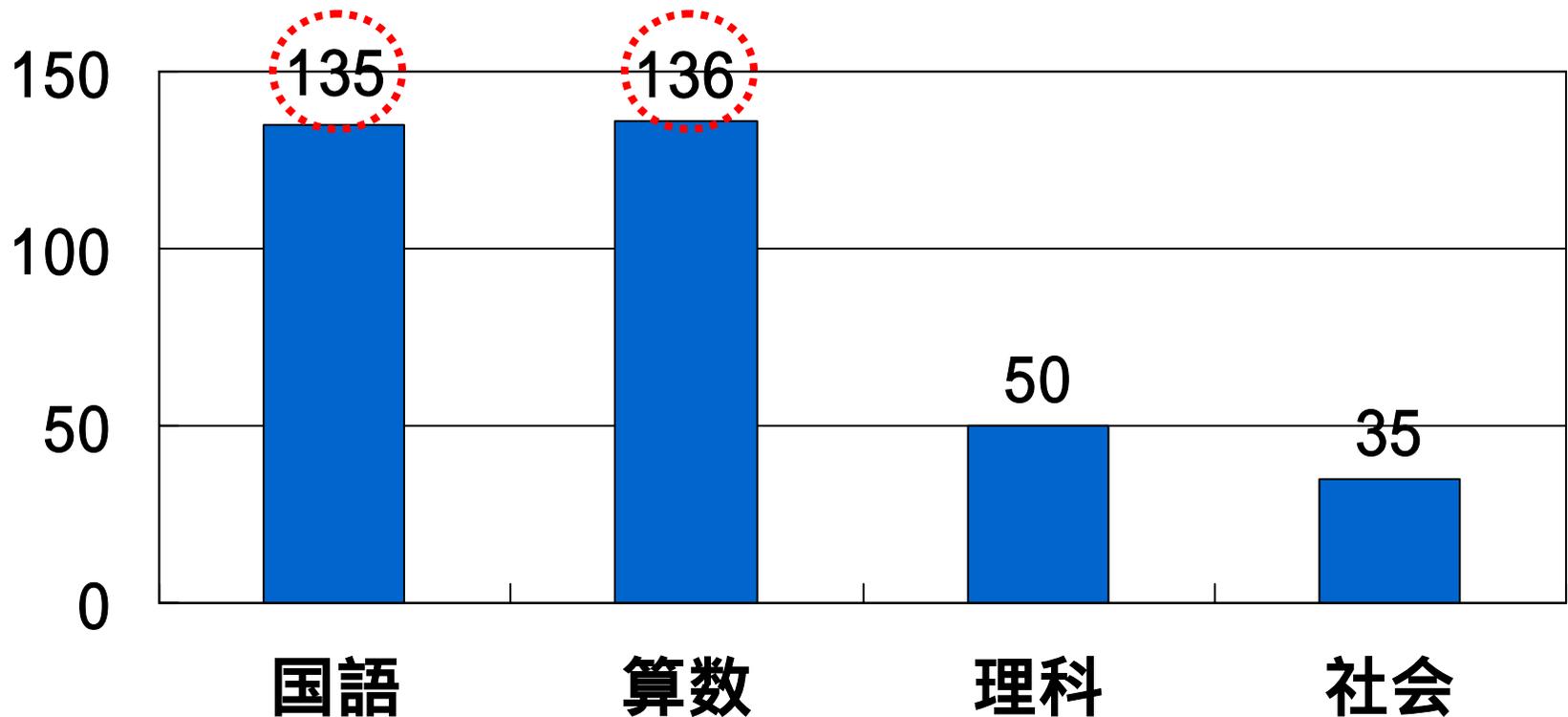


学力調査の内容 ～ 調査対象・科目～

対象となるのはどの学年か

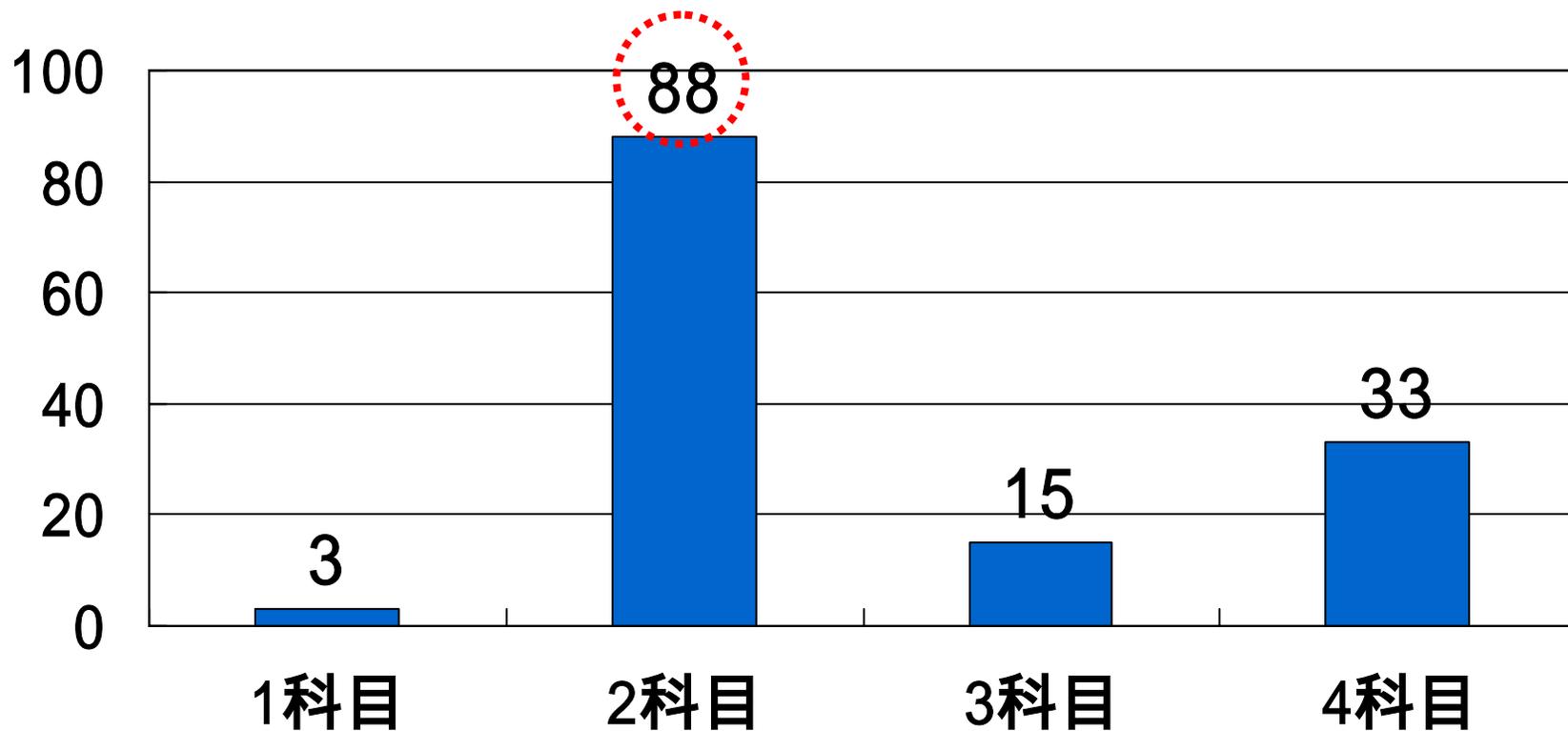


どの科目が調査されているのか (小学生)

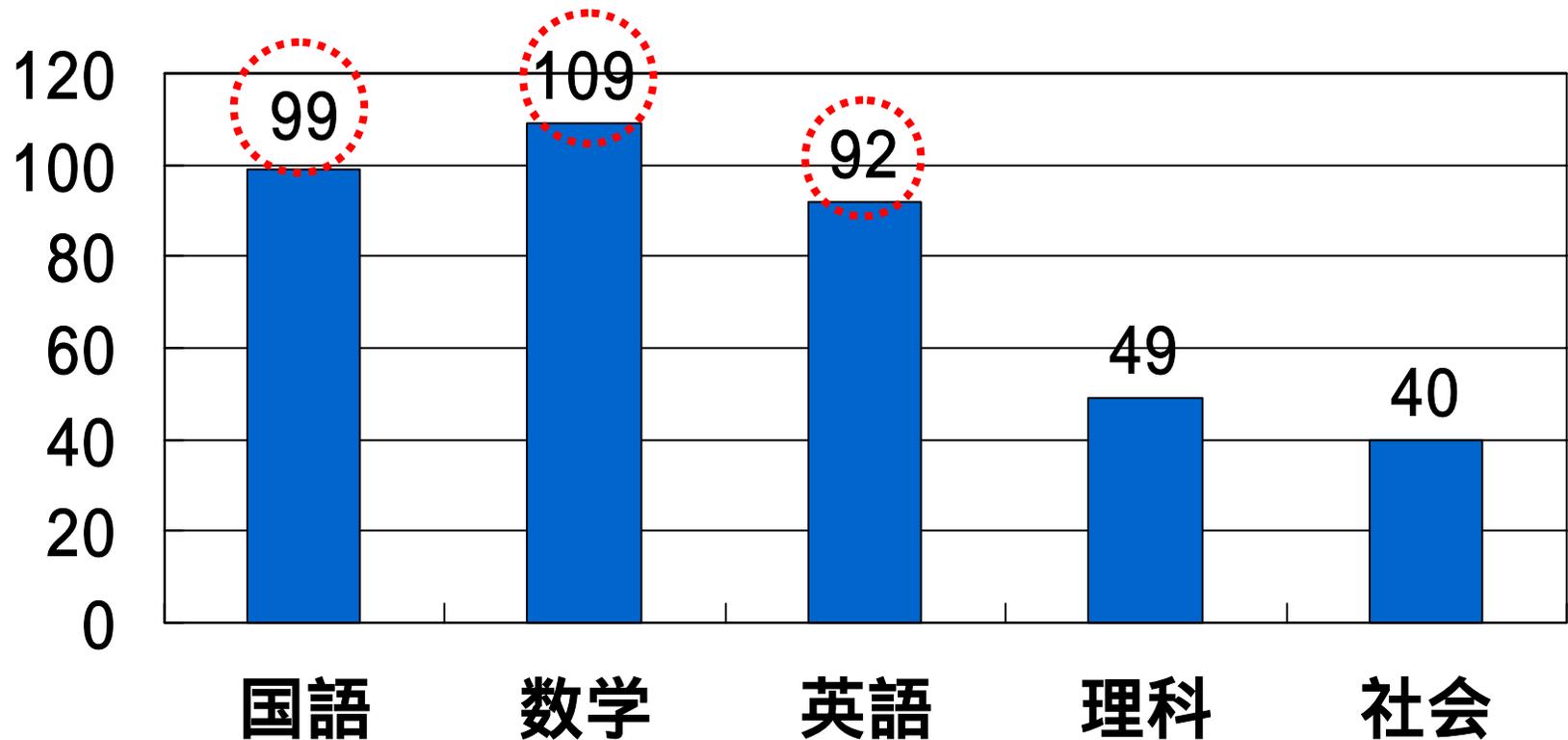


全調査数: 139調査

1回の調査の科目数はどの程度か (小学生)

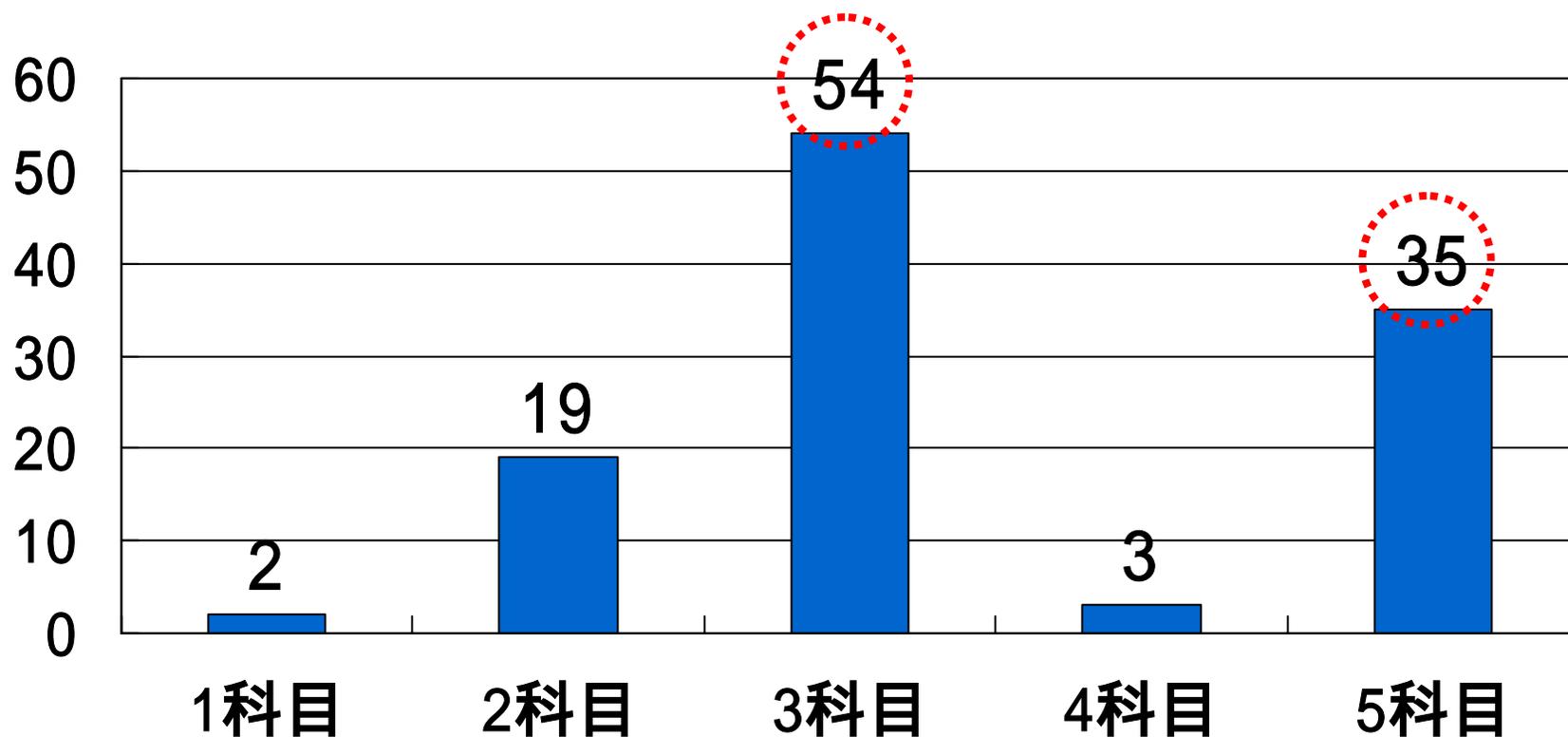


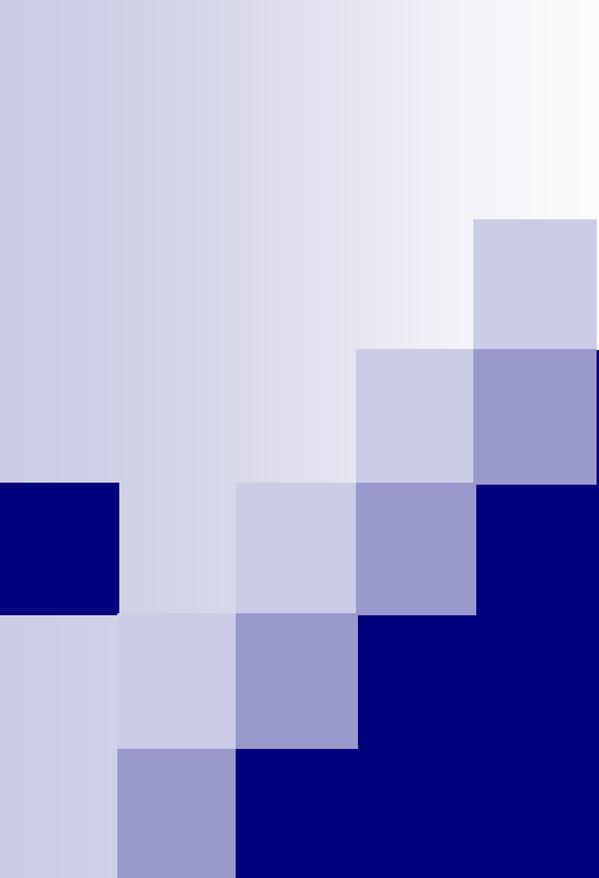
どの科目が調査されているのか (中学生)



全調査数: 113調査

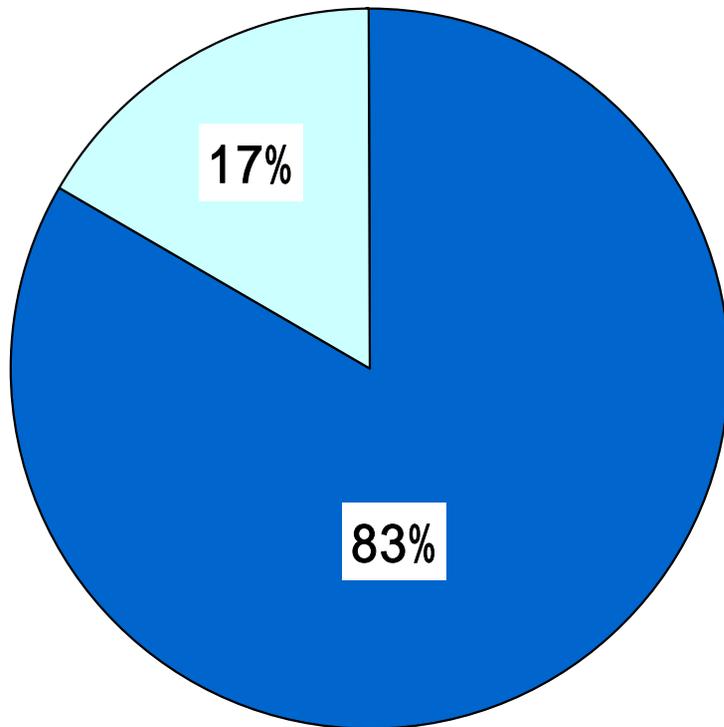
1回の調査の科目数はどの程度か (中学生)





調査作成・分析 公開状況

問題の作成はどこが行っているのか

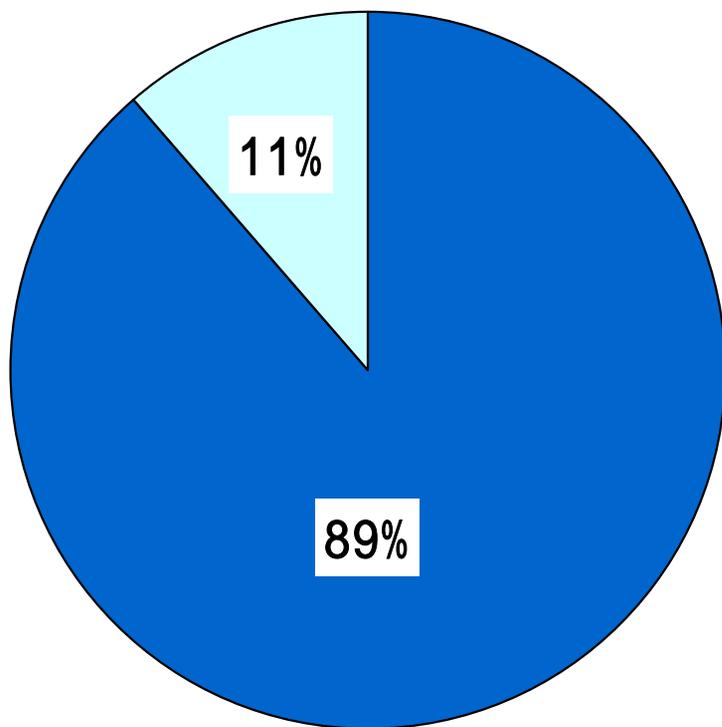


- 教育委員会が単独で作成
- その他

「その他」とは

- 国の教育課程実施状況調査の問題を使用
- 業者の問題を使用

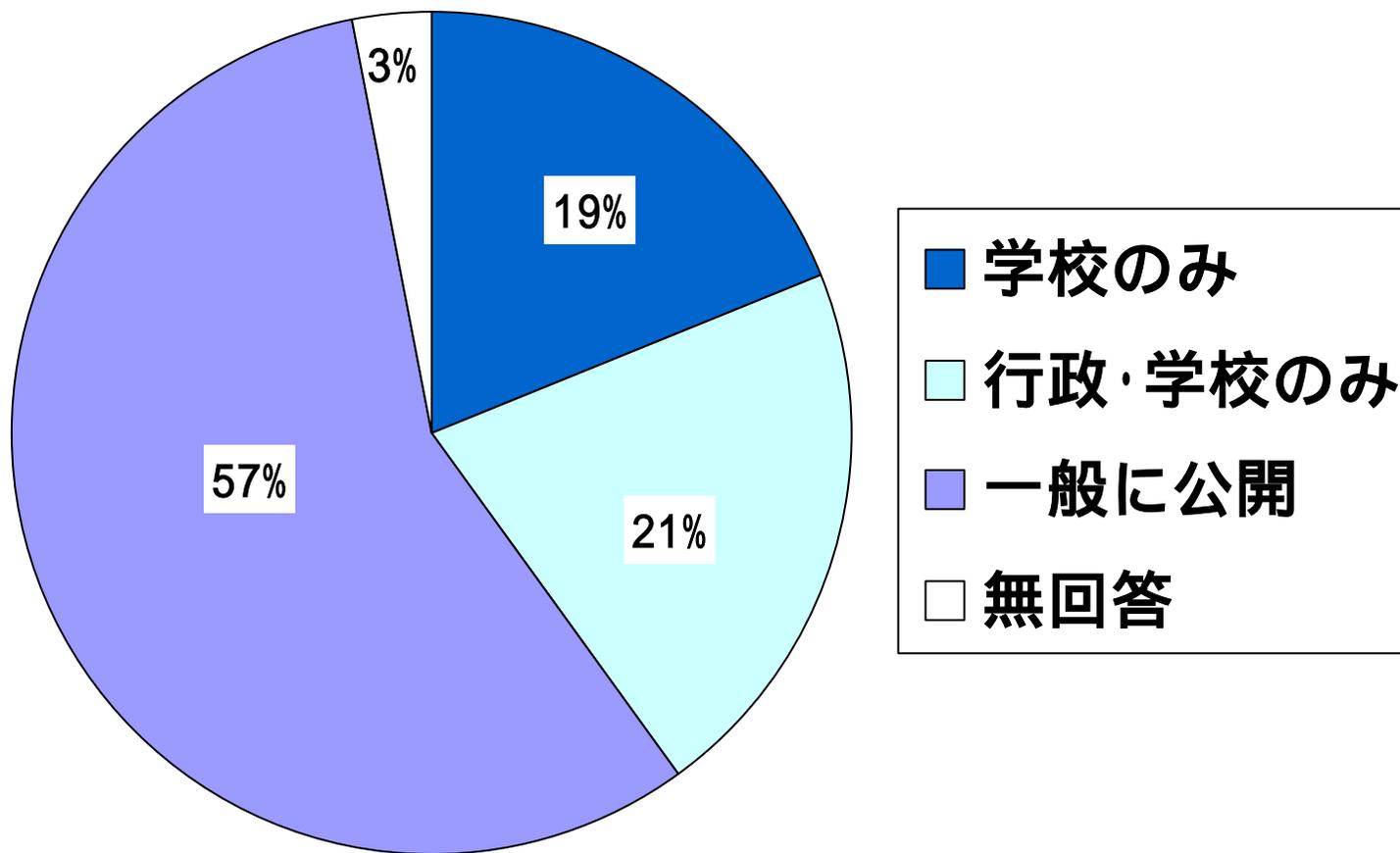
分析はどこが行っているのか

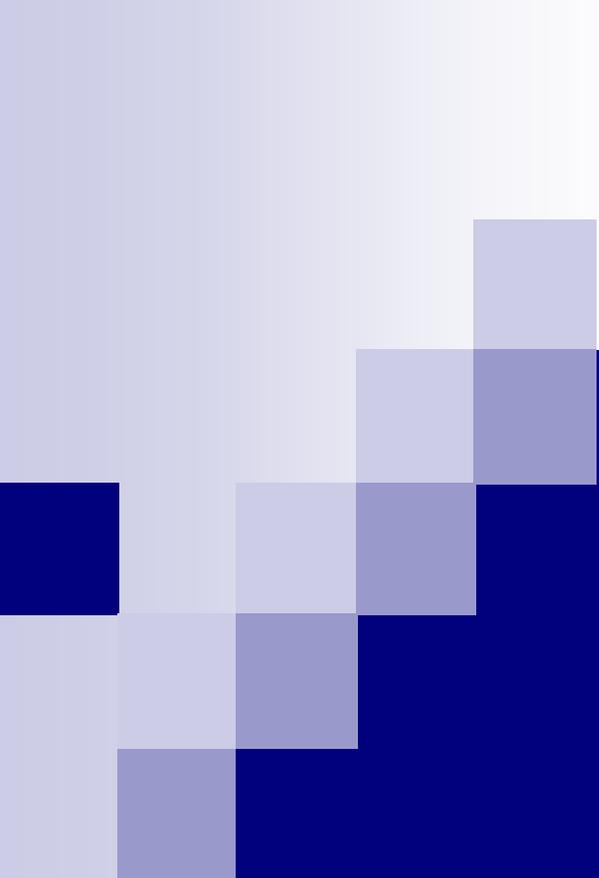


- 教育委員会が単独で分析
- その他

- 「その他」とは
- 業者の問題を使用している自治体
- cf. 大学との連携を試みている自治体もある
(大阪府・香川県など)

公開状況はどのようになっているのか





自由記述の回答

(1) 調査対象の選定にあたり、どのような点に気をつけましたか

1. 対象学年についての回答

- 補充指導期間の必要性
- 多忙な学年の回避
- 全国的に多く実施されている学年
- できるだけ多くの学年
- 学年のバランスを考慮
- 過去の調査との継続性を考慮

(1) 調査対象の選定にあたり、どのような点に気をつけましたか

2. 調査対象校についての回答

- 対象地域偏在の回避(県内全域)
- 人口規模や学校規模を考慮
- 普通科 - 職業科, 全日制 - 定時制を考慮
- 対象者・対象校の負担を考慮
(過去の調査対象校・文科省の教育課程実施状況調査との重複を回避)
- 教育事業の指定校を選出

(1) 調査対象の選定にあたり、どのような点に気がつきましたか

3. 抽出率についての回答

- 1人1人の状況を把握するために悉皆調査
- 学校の負担を考えて、抽出率を決定
- 予算で抽出率を決定

(2) 調査問題の作成にあたり、どのような点に気をつけましたか

1. 問題の難易度についての回答

- 基礎・基本を出題(難問の回避)
- 基礎・基本にとどまらず、応用、発展問題まで出題
- 解答時間に配慮した問題量

(2) 調査問題の作成にあたり、どのような点に気をつけましたか

2. 観点別評価とのかかわりについての回答

- 知識のみを問う問題を回避
- 思考力や表現力を問う問題も含める(記入・記述形式の採用等)
- 評価の観点のバランスを考慮
- 「関心・意欲・態度」や日常的な学習の実態を調べる質問紙も作成

(2) 調査問題の作成にあたり、どのような点に気をつけましたか

3. 比較の観点からの回答

- 全国との比較を考慮

教育課程実施状況調査で出題された問題を一部採用

- 過去との比較を考慮

過去の調査で出題された問題を一部採用

(2) 調査問題の作成にあたり、どのような点に気がつきましたか

4. 出題範囲についての回答

- 可能な限り広い領域から出題
- 学習指導要領の内容を考慮
- 全教科書の内容に対応

(2) 調査問題の作成にあたり、どのような点に気をつけましたか

5. 客観性への配慮についての回答

- 正答基準が明確でない問題の回避
- 客観式テストの採用

(3) 調査の実施にあたり、技術的に 困難だったことは何ですか

1. 調整段階についての回答

- **実施日の調整**
- **市町村教育委員会等の理解を得ること**
- **実施方法の統一**
- **調査対象校の選定**

(3) 調査の実施にあたり、技術的に 困難だったことは何ですか

2. 作題についての回答

- 関心・意欲や考え方を問う問題の開発
- 記述式問題の解答例の作成

(3) 調査の実施にあたり、技術的に 困難だったことは何ですか

3. 結果の集計・分析についての回答

- **分析上の専門知識の不足**
- **設定通過率の決定方法**
- **誤答分析のための解答類型の作成**
- **分析作業に時間がかかる**

4. 公表方法・個人情報保護についての回答

(4) 調査の結果、明らかになったこと について簡単にお書き下さい

- 1. 学力の定着状況**
- 2. 日常的な学習習慣・意識の実態**
- 3. 学力定着状況と学習習慣・意識との関係**
- 4. 指導上の問題点および今後のポイント**

(5) 調査結果をどのように活用しましたか(あるいはする予定ですか)

1. 学校へのフィードバック
2. 今後の教育行政施策への反映
(教育事業の効果の検証を含む)
3. 研修資料として活用

圧倒的に多いのは、1.の学校へのフィードバック

(6) 貴委員会が学力調査実施にあたって困っていること、どのような情報や外部の助力を必要と感じているかについてご自由にお書き下さい

- 1. マンパワーの制約(専門的知識不足も含む)**
- 2. 問題作成についての情報(観点別評価等)**
- 3. 他の調査との調整**
- 4. 予算の制約**
- 5. 時間の制約**
- 6. 情報公開の方法**
- 7. 他の都道府県の状況**